

『昭和のビックプロジェクト』 2本立て上映会

激動の時代 昭和を生き抜き、高度経済成長を牽引した人々の誇りと活力を切り取ったドキュメンタリー！！

『偉大なる建設 東京タワー建設記録』(33分)と『名神高速道路』(67分)の2本立て(計100分)を連続上映します。



『偉大なる建設 東京タワー建設記録』

(1959年製作 / カラー33分)



『名神高速道路』

(1964年製作 / モノクロ67分)

【日時】平成29年 **5月21日** (日曜日) 【午前の回】午前**10時30分**～午後**12時25分**
【午後の回】午後**2時30分**～午後**4時25分** ※各回の上映内容は同じです。

【会場】大東市立総合文化センター (サーティホール) 3階 視聴覚室

【料金】 **入場無料**

【対象】どなたでも

【開場】上映30分前 (上映中の途中入場、退出可)

【問合せ】大東市立公民館 [指定管理者:株式会社アステム]
〒574-0037 大東市新町13-30
大東市立総合文化センター内 公民館事務室
TEL:072-873-3522 FAX:072-873-0119 (代)
受付時間:午前9時～午後9時
休館日:第1・3月曜日(その日が休日のときは、その翌日)



『偉大なる建設 東京タワー建設記録』

(1959年製作 / 企画：竹中工務店 / 制作：マツオカプロダクション / カラー33分)

<解説>昭和33年完成当時パリのエッフェル塔を抜いて世界一の高さを誇った日本電波塔の建設記録。この建設にはタワー建設のためだけに造られたたクレーンや75mのアンテナ部分を鉄枠の中で組み立て、それを押し上げて固定させるなどの世界初の技術が多く使われた。映画には往年の職人技が鮮やかに記録されている。「命綱なしで自在に鉄骨を渡り歩く」などの技が随所に見られ、職人の気概が伝わってくる。当時の最新技術を駆使した優れた技術者と職人技の融合が世界一の自立鉄塔完成の大きな力となった。

激動の昭和（30～40年代）を生き抜き、高度成長を牽引してきた人々。

その人々の誇りと活力が生き生きと描かれている秀逸な記録映画シリーズ。



『名神高速道路』

(1964年製作 / 企画：日本道路公団 / 日本映画新社[制作] / モノクロ67分)

文部省選定、科学技術庁長官賞 / 東京都教育映画コンクール金賞

<解説>日本初の高速道路となった名神高速道路の建設工事は、1958年に京都市山科区で着工されました。この作品では、本格的な長距離都市間高速道路である名神高速道路の建設工事を、用地買収から1965年7月1日の全線が完成するに至るまでを記録したものです。激動の昭和を生き抜き、高度経済成長を牽引した人々の活力がみなぎる秀逸なドキュメンタリーであり、車載カメラや空撮技術を駆使した映像をご覧ください。

昭和の息吹を感じる感動のドキュメンタリー！ 当時の社会を再認識し語り継がれる飾りのない本当の昭和がここにある。

『偉大なる建設 東京タワー建設記録』（33分）と『名神高速道路』（67分）の2本立て（計100分）を連続上映します。